

私立大学環境保全協議会 第35回夏期研修研究会 プログラム

日時 <第1日> 講演会 (来場・ライブ配信・オンデマンド配信)

2022年8月25日(木) 13:00~16:30

※講演会のオンデマンド視聴期間: 9月1日(木)~22日(木)

<第2日> グループ討議 (来場のみ)

2022年8月26日(金) 9:00~11:30

キャンパス見学会 (来場のみ)

2022年8月26日(金) 12:00~13:00

会場 早稲田大学研究開発センター (121号館) ※

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町513 TEL 03-5273-9605 (私大環協事務局)

<https://www.waseda.jp/inst/research/innovation/building121>



第35回夏期研修研究会会場

※会場ではペットボトル等(密閉できる容器)での水分補給のみ可能です。

1階タリーズコーヒーにてお買い求めいただきました飲料の地下への持ち込みは
ご遠慮いただきますようご協力のほどお願い申し上げます。

ご来場の際は感染予防(検温、マスク着用、手指消毒、ディスタンス確保)にご協力ください。

なお、来場者が定員を超えた場合、ご希望に添えない場合がございます。ご理解・ご協力の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

第1日

【8月25日（木）】 <定員 100名>

121号館コマツ100周年記念ホール

1. 開会挨拶 13:00～13:10 私立大学環境保全協議会 会長 松本 道明
2. 開催校挨拶 13:10～13:20
3. 特別講演 13:20～14:20（60分間）

「脱炭素時代の環境政策 ―環境政策50年を振り返りつつ―

早稲田大学 法学部 教授 森本 英香
(元 環境事務次官)

今日、脱炭素（2050年 CN:カーボンニュートラル）の動きが急です。その動きをスケッチするとともに、日本がどのように取り組もうとしているか、これから何が必要かについて解説します。

また、これまでの道程は平坦なものではなく、50年以上の科学者、市民そして行政の努力の成果としての環境政策進化の歴史があります。そうした歴史を鳥瞰しつつ、お話ししたいと思います。

◇休憩・デモ展示見学（10分）◇

4. 研修講演 14:30～15:20（50分間）

「2050年に向けたエネルギー政策の動向と大学への期待」

経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部
元 省エネルギー課長 江澤 正名
(現、産業保安グループ保安課長)

2050年に向けて、高等教育機関としての人材育成と大学自らの環境・エネルギー対策に資するため、以下の内容を紹介します。

- ・エネルギー政策の動向
- ・省エネ政策、省エネ法改正
- ・大学におけるエネルギー消費、省エネ法ベンチマーク制度
- ・電力需給と節電及び省エネ
- ・再生可能エネルギー、ZEB

◇休憩・デモ展示見学（10分）◇

5. 話題提供 15:30～16:20（50分間）

「化学物質の大転換『法令準拠型』から自律的な管理へ」

(独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
化学物質情報管理研究センター長 城内 博

施行以来50年続いてきた特別則による措置を主体とした化学物質管理が、欧米のような「自律的な管理」に変わります。この背景及び概要について説明します。

6. 講演総括 16:20～16:30（10分間） 私立大学環境保全協議会 副会長
7. デモ展示見学・懇話会 16:30～（自由解散）

第2日

【8月26日（金）】

121号館会議室（当日ご案内）

1. グループ討議 9:00～11:30（150分間）

I：教育と連携 <定員30名：学生参加 可>

「SDGs 未来都市と大学の役割を考える」

東京都豊島区は、2020年7月、内閣府よりSDGsへのすぐれた取り組みをおこなう自治体として「SDGs 未来都市」に選定されました。今回はその取組事例に関する紹介講演を参考に、持続可能な開発とまちづくり、地域連携と大学の役割などについて意見交換を行います。

（グループ内講演）「SDGs 未来都市・東京都豊島区の持続可能なまちづくり」

豊島区国際文化プロジェクト推進室 SDGs 未来都市推進担当課長 星野 和也

II：化学物質 <定員50名>

「新たな化学物質管理体系に向けた対応などについて」

厚生労働省にて検討されている化学物質管理体系の見直しについて、大学として具体的に取り組むべき対策の項目内容の説明を行った後、複数のグループに分かれて意見交換などを行い、再び集合して、各グループで出された意見・疑問点などについて全員で確認します。

III：施設・設備 <定員30名>

「脱炭素先行地域において大学に求められる役割について」

環境省が2050年カーボンニュートラルに向けて2025年までに100か所の選定を進めている脱炭素先行地域において、大学に期待される取り組みなどについて環境省担当者、コーディネータの方々からの情報提供、質疑応答、意見交換などを行う予定です。

（グループ内講演）「さいたま市の脱炭素先行地域における取組について」

さいたま市環境局環境共生部環境創造政策課 山崎 静一郎

※このほか、前環境省の方からもご講演いただく予定です。

（コーディネータによる情報提供）

「法人のお客さまのカーボンニュートラル実現を支えるカーボンニュートラルソリューションサービスの本格開始～目的の明確化から設備維持・改善までワンストップでご支援～」

東京電力エナジーパートナー株式会社販売本部法人営業部都市事業ユニット 渡邊 圭介

「脱炭素先行地域において、東京ガスが取り組める事」

東京ガス株式会社都市エネルギー事業部公益営業部 部長 佐藤 昭彦

2. デモ展示・懇話会 11:30～12:00

3. キャンパス見学会 12:00～13:00

A コース <定員10～20名> 新実験棟 121号館館内コース

B コース <定員10～20名> ※案内人のない自由見学も可 早稲田キャンパスのミュージアム等